

提供日 2014/04/02

タイトル 一緒に乳がん検診に行こう！

担当 県立総合病院

連絡先 県立総合病院

乳腺外科医長 緩和医療管理監兼女性センター

一長 中上和彦 TEL 054-247-6111(代)



～ともにつくる 信頼と安心の医療～

## 一緒に乳がん検診に行こう！

乳がんは、早期発見・早期治療が重要です

### (要旨)

#### ○ピンクリボンバッジ



ふじっぴーがピンクリボンのすべり台をスルッと滑っているこのデザインは、早期発見・早期治療によって乳がんの治療がスムーズにいくという願いが込められている

当院では、静岡県の乳がん検診率の向上に対する取り組みとして、静岡県のマスコットキャラクターであるふじっぴーを起用したピンクリボンバッジを作成し、2月に開催された当院のオープンホスピタルで配布、検診受診を呼び掛けた。

そのほかにも、乳がん検診率の向上のため、がんの体験者の会（患者会）や市民公開講座の場で、乳がんの早期発見・早期治療の重要性をアピールしていくほか、独自の活動として、乳がんに対する正しい知識を持っていただき、受診率の向上につなげるため、一般県民向けに「乳がん講演会」を行っている。希望があれば、当院でも乳がん検診を受けることが可能であり、新たな生活が始まるこの時期、自身の健康を見直す良い機会としてほしい。

上記のピンクリボンバッジは、県民におなじみのふじっぴーを起用することによって、乳がんに対する意識を身近なものにし、手にとった方からその家族や友人、または職場の方々に乳がんの早期発見・早期治療の重要性を呼びかけていただき、「一緒に乳がん検診に行こう」の呼びかけによって、乳がんの検診率の向上に繋げていくことをねらいとしている。

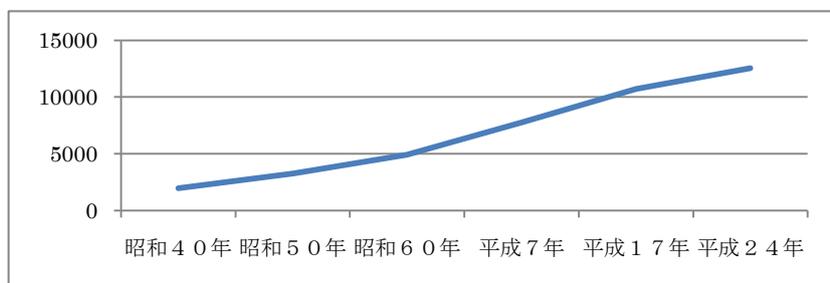
### (問合せ先)

静岡県立総合病院 乳腺外科医長 緩和医療管理監兼女性センター一長 中上和彦  
住所：静岡市葵区北安東4-27-1 電話：054-247-6111(代)

(参考)

乳がん患者数は年々増加傾向にあり、乳がんにより亡くなる方も、ここ50年間で7倍近くに増えている。

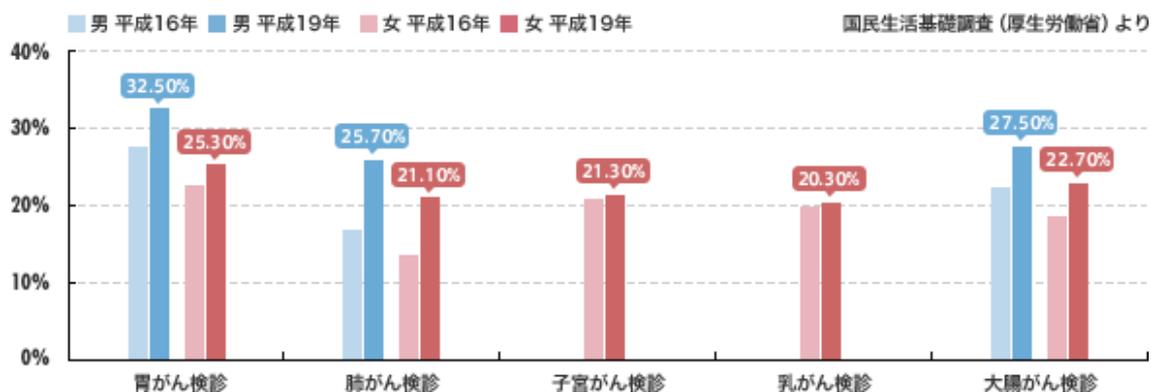
○図表1 「乳がん死亡者数の推移」 (単位：人)



しかし、自己検診など自分で発見できる数少ないがんで、早期発見すると生存率は9割以上とされている。

ところが、乳がん、子宮がん検診を含めた5つのがん検診の受診率は20%台前半、特に子宮がん、乳がんについては、検診受診率が低い状況にある。静岡県も例外ではなく平成19年度の静岡県の乳がん検診受診率は、全国平均20.3%よりわずかに下回っている現状がある。

○図表2 「がん検診の全国平均受診率」 (単位：%)



○図表3 「都道府県別受診率」 (単位：%)

